

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2015年2月28日		
山名	小岱山(県連登山学校検定試験)		
CL	参加者	阿部(哲)、花田、高野	(3)名
HP記載の有無	有		
(コース)	<p>丸山ふるさと自然公園ビジターセンター9:10～観音岳11:28～唐渡岩11:31/52～ 焚き火岩11:56/14:35～ビジターセンター14:35登山学校検定試験。 観音岳丸山登山道でコンテ、唐渡岩で肩絡み、焚き火岩で懸垂下降、 ビジターセンターで筆記試験</p> <p>歩行距離 4.73km 行動時間 5時間50分 留関標高差 +595m -445m</p>		
(コメント)	<p>阿部哲之助 (記)</p> <p>登山学校に参加しようと思った理由は、「縦走時に滑落の危険がある険しい岩場等での対処方法や初心者を連れていく際の山行での補助的なロープの使い方を学びたい」程度のものでありました。しかしながら、初日より完全なクライミング講習となり、未経験の自分には説明を受けている内容と状況とが想像すらできず正直何を行っているのか解らずについていくことができるのかどうかかなり不安でした。</p> <p>その後、クライミングについての解説書を購入したり、所属会の経験者や登山学校の受講者に教えてもらったりするうちにホワイトアウト状態の頭のなかが、うっすらとした霧に変わっていき、現在では多少のもやのなかに薄明かりが見え、なんとか歩いて行けそうな感じまで上達してきました。お陰様でここまで到達できましたので、今後は初級の岩場でさらに練習を積み重ねてクライミングにもトライして行きたい気持ちになってきています。</p> <p>入校当初は縦走目的の自分には、ここまでのクライミング技術は必要ないのではないかという気持ちでしたが、縦走や沢の講習を繰り返し受けるにしたがって、安全登山には、様々な状況に対処できるべく、一通りのクライミング技術の習得の必要性を充分理解することができました。</p> <p>今後は自分自身がこれらの安全登山の考え方を所属会のメンバーにも広めていきたいと思うと同時に、講師陣には多大なる負担をおかけすることになると思いますが、通り一遍の技術を教えるだけでなく、安全登山の理念を理解させることができるような登山学校の運営を末長くお願いしたいと思えます。</p> <p>また、本講習の内容をテキストにまとめて頂き、今後の登山学校の教科書として使うだけでなく、県連のマニュアルとして所属会全体のレベルアップにつながるようなものになることを希望します。技術の習得だけでなく、お互いに得手不得手の分野を教え合いながら、みなさんと一緒に所属会や年齢を超えて学び、同期の仲間を作ることができたのは、一生の宝物だと大変感謝しております。</p> <p>1年間本当に有難うございました。</p>		
			

高野 朗 (記)

5月10日・11日から始まった登山学校、いきなりクライミングに関するロープワーク、実践、かなり詰め込む事柄がありすぎて、溢れ出てしまうのが感じられ、この先ついていけるのかかと不安を覚えたことが思い出されます。

日向神峡、阿蘇根子岳縦走のクライミング実践ではピークに達しましたが、なんとか乗り越え、沢登り実践においては、苦手意識もあり、なかなか慣れることができませんでした。

その後の脊梁山脈での縦走実践、自分自身に足の痙攣というトラブルがありましたが、その他に関しては及第点を自分に与えられると思っています。

そして最後に冬山実践、私自身も冬山が好きなので大いに意欲を持って臨むことができました。

約1年の登山学校を通して、それぞれの実践講習の中で教えられた知識・技術など、身に付いたものが多くなっていると感じられます。

所属する会では、私たち登山学校の受講生が会が計画する登山学校の運営に中心的な存在として携わることを期待されています。

その期待に応じて登山学校の運営がよりよく成るように協力していきたいと思っています。

今回の登山学校の数々の講義・実践を通して、基底に流れているのは「安全」だと感じました。

登山は自己責任といわれていますが、危険予知、危険予防等の安全管理を徹底することにより楽しい登山ができるものだと実感しました。

危険と感じたらそれに対する安全対策を迅速に打つ、今後、個人でも会山行でもこのことを意識して臨んでいきたいと思えます。

最後に、1年間無事故でここまでこれたのは、講師の皆さんのご指導と受講生皆で協力し合ったことの賜物だと思います。ありがとうございます。

これから、受講生の皆さんは所属する会に戻り、今回の登山学校の経験を生かし登山に取り組んでいくと確信しています。

お互いに情報交換などの相互交流をしていながらお互いを高めていきましょう！！

花田 仁 (記)

【事故を起こさないパーティーリーダーになるために】を目指して参加しました。

一年間、無事故で過ごせたことでほっとしています。

入校する前に年間カリキュラムを見て、少し緊張気味でした。

★装備とロープワーク

装備のメリット、デメリットなど実体験による説明が大変参考になりました。

日向神のハナタテ上部では遠くから聞こえる沢の音が今でも忘れられません。

同じパーティーの仲間に感謝です。

また野北では、Y講師より「曖昧な判断は事故の繋がる」と説明を受け、大変勉強になりました。

★根子岳

今まで眺めるだけの天狗を往復、緊張した気持ちでの達成感、最高でした！

★沢

入渓する時、山への崇拜の心と姿勢を学びました。

今後はもっと会山行にて経験を積みたいです。

★縦走

今まで一番経験のある縦走、脊梁の山々を歩き、キノコの勉強や焚き火、ビバークなど

楽しい思い出となりました。

★冬山

昨年の登山学校Bでは下蒜山を往復、今年は下中上の蒜山三山を全員で縦走出来たこと、

これからの自信になります。

今後は、所属している会への恩返しとして学んだ事を会員へ伝えて、【事故ZERO】を実践します。

最後に、一年間ご指導頂いた講師の方々、受講生の皆さん ありがとうございます。